

株主の皆様とテクマトリックスをつなぐIRマガジン「テクマティズム」

TECHMATISM

TechM@trix

第31期 第2四半期報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで

Insight into the future

いたるところで
テクマトが。



テクマトリックス株式会社

証券コード：3762

SUSTAINABLE GRO

持続的な成長の実現に向けて 事業構造の転換を加速しています。

2015年3月期 第2四半期の概況

市場動向を振り返ると、企業のIT関連投資には、当初懸念された消費税増税の影響がほぼ見られず、一方で官公庁の入札が上期に集中し、公共セクター向けのセキュリティ対策投資案件等の受注が増加しました。

そうした中で当社の営業状況においても、情報基盤事業及びアプリケーション・サービス事業の各分野とも受注を拡大し、想定以上の成果を上げました。

当社は現在、クラウド関連事業によるストック収益型モデルへの転換を図っており、売上を一括計上する従来型の製品と比較すると、売上がサービス提供期間にわたって按分計上(経過処理)されるため、短期的には業績が伸び悩んでいるように見えます。しかし、持続的な成長に向けた事業構造の変革は順調に進んでおり、安定収益による体質転換を遂げつつあります。

時流を捉えた2つの戦略を着実に遂行

当社は、成長戦略の柱である「クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進」に傾注し、特に医療分野とCRM分野を重点的に強化しています。医療分野では、医療情報クラウドサービス「NOBORI」が受注・契約件数を大きく伸ばし、CRM分野では、コンタクトセンターCRM製品をクラウドで提供する「FastCloud」が景気の回復を受けて堅調に推移しています。「FastCloud」については、2014年6月にインドネシアでクラウドサービスを提供す

るCBN Cloud社と販売代理店契約を締結し、ASEAN市場における販売展開を開始しました。

成長戦略のもう1つの柱である「セキュリティ&セーフティの追求」については、官公庁や大手企業に求められるサイバー攻撃からの防御、製造業等における組込みソフトの機能安全・品質向上といったニーズを捉え、これらに対応した製品・サービスによる売上を拡大しています。

2014年9月には、米国Avere Systems社及び米国VERACODE社と販売代理店契約を締結しました。今後、両社がそれぞれ提供するクラウド関連・セキュリティ関連商材を国内で積極的に販売していきます。

通期業績の見通しと今後の展望

第2四半期の業績は期初予想を上回りましたが、通期業績については保守的に見込み、今のところ予想数値を変更していません。製品の開発・拡充や人員増強への投資を進めつつ、ストック収益化による効率的な経営を実現していく考えです。

医療分野への先行投資による利益面への影響も、当期を底として、来期以降は業績改善効果が顕在化していく見通しです。市場のニーズを敏感に捉えながら、市場の伸び以上の成長を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

WTH

TechMatrix



当第2四半期連結業績（累計）

	期初予想 (百万円)	実績 (百万円)	前年同期比
売上高	8,500	8,604	3.4%
営業利益	320	350	18.7%
経常利益	320	343	23.1%
四半期純利益	200	211	47.1%

テクマトリックスの事業戦略

詳しい情報はP3-4へ

- 1 クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進
 - クラウドサービス(SaaS)事業の主体的運営
 - クラウドサービスを可能にする技術の発掘と提供
- 2 セキュリティ&セイフティの追求
 - ネットワーク・セキュリティソリューションの提供
 - ソフトウェアの機能安全(セイフティ)及びソフトウェア品質保証ソリューションの提供

当期の利益還元について

当期の期末配当は、1株当たり15円(連結配当性向25.6%)を予定しています。

今後の利益還元方針としては、連結配当性向20%以上の維持を基本に、成長投資のための内部留保とのバランスを勘案しつつ、配当の充実に努めてまいります。

代表取締役社長

由利 孝

ビジネスモデルの 変革

「クラウド」「セキュリティ&セイフティ」という
2つの領域を戦略的に強化し、
ストック収益モデルへの転換を進めている
当社の取り組みを読み解きます。



1 拡大するクラウド市場・セキュリティ市場

成長戦略の前提となる市場動向を見ると、国内のクラウド市場は、2013年度に6,257億円に達しており、2015年度に1兆円を超え、2018年度には1兆8,000億円規模まで拡大すると予測されています。また、8割の企業が新規システムの構築時にクラウドの導入を検討している^{*1}とされ、その浸透が顕著となっています。

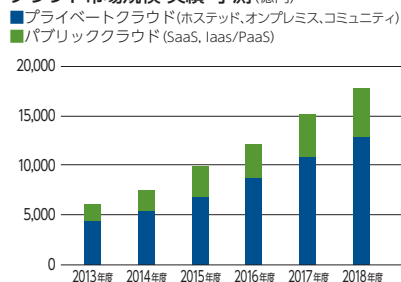
一方、国内のセキュリティ市場も、サイバー攻撃等による脅威の高まりを受けて年々拡大傾向にあり、製品とサービスを合わせた市場規模は、2013年度の3,594億円から2018年度には4,712億円^{*2}まで成長する見通しです。

2 ストック収益モデルへのシフト状況

当社は、顧客企業のIT投資におけるコスト削減効果と利便性を打ち出し、仮想化ソリューションやクラウドサービスの販売を拡大しています。これらの契約は、製品・サービスの「売り切り」と異なり、継続的な売上計上＝ストック収益をもたらします。当社が持続的な成長を遂げていくためには、このストック収益を中心とする事業構造へのシフトが不可欠です。

当第2四半期のストック比率は、情報基盤事業で42.7%、アプリケーション・サービス事業で41.2%となりました。

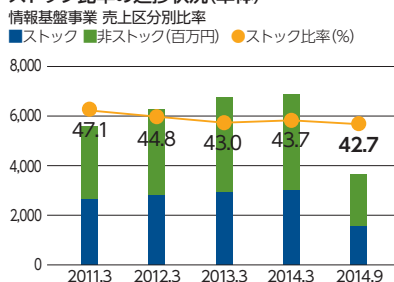
クラウド市場規模 実績・予測 (億円)



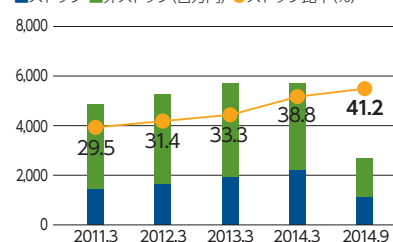
*1: ㈱AMM総研(東京・港)「国内クラウドサービス市場規模実績・予測」(2014年11月4日)より引用

*2: ㈱富士 キメラ総研「2014 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 上巻」より引用

ストック比率の進捗状況(単体)



アプリケーション・サービス事業 売上区分別比率



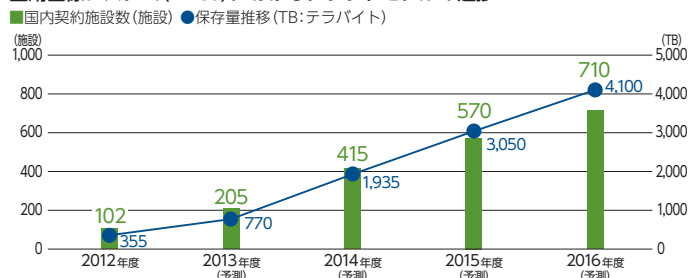
PICK UP

クラウド型医用画像システムで市場シェア7割 新たな市場を創造する「NOBORI」

これまで大手医療機器メーカーが市場を制していた医用画像システム(PACS)の分野に、当社が「NOBORI」を投入したのは、2012年6月。「クラウドによる機能提供」という価値転換で新たな市場を創造し、短期間のうちにクラウド型PACS市場でシェア68.5%を占めるまでになりました(2014年3月末現在)。当期の導入数目標は新規150件、累計300件を目指しています。

今後は、国内市場でのさらなる拡販と同時に、ASEAN市場への展開も進めていく予定です。

医用画像システム(PACS)におけるクラウドモデルの進捗



矢野経済研究所「2013年版医用画像システム(PACS)・関連機器市場の展望と戦略」(2013年11月15日発行)より作成



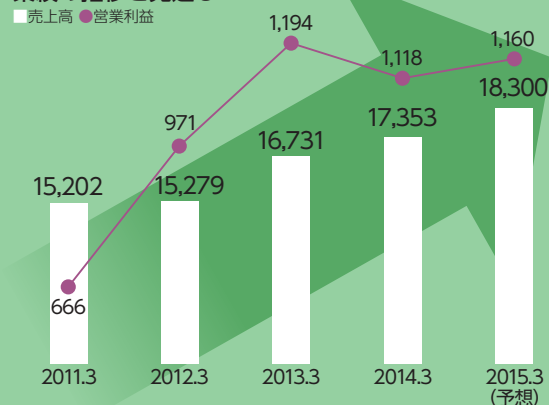
「NOBORI」は、CT画像など大容量の医療情報をデータセンターで安全に保管し、必要な時に活用・共有できる高品質のクラウドサービスです。

3 持続的な成長の実現と新たな成長性の確保

ストック型収益モデルへのシフトにより、持続的な成長モデルを確立していきます。今後、医療情報クラウド「NOBORI」が、投資フェーズから収益フェーズへ移行して行くことから、当該事業の業績は来期以降V字回復に向かう予定です。更に、新たな顧客ニーズに対応した新商品・新サービスを積極的に投入し、新たな成長シナリオを創っていきます。

その先にある新たな成長性の確保に向けて、先進的な技術の発掘・開発に経営資源を投入していきます。

業績の推移と見通し(単位:百万円)



■ 連結業績ハイライト

		2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
損益の状況		第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期 (予想)
売上高	(百万円)	7,517	15,279	7,859	16,731	8,323	17,353	8,604	18,300
営業利益	(百万円)	466	971	525	1,194	430	1,118	350	1,160
経常利益	(百万円)	496	1,012	549	1,172	446	1,164	343	1,160
当期(四半期)純利益	(百万円)	223	431	289	629	400	793	211	700
1株当たり当期(四半期)純利益	(円)	18.49	35.71	23.99	52.28	33.54	66.37	17.53	58.00
自己資本当期純利益率(ROE)	(%)	—	8.8	—	11.9	—	13.6	—	—
総資産経常利益率(ROA)	(%)	—	9.0	—	9.9	—	9.2	—	—
売上高営業利益率	(%)	—	6.4	—	7.1	—	6.4	—	—

資産の状況		第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)
総資産	(百万円)	11,279	11,469	11,450	12,212	12,502	13,170	13,012
純資産	(百万円)	5,251	5,503	5,639	5,954	6,272	6,252	6,147
自己資本比率	(%)	42.9	44.2	45.4	44.9	46.3	46.8	46.6
1株当たり純資産	(円)	—	419.66	—	460.26	—	513.07	—

キャッシュ・フローの状況		第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	526	1,311	428	775	409	1,247	562
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△99	△307	△226	△420	△163	△976	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△192	△280	△204	△346	△135	△145	△110
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(百万円)	3,136	3,624	3,622	3,633	3,774	3,759	4,110

ポイント

当第2四半期連結累計期間の売上高は、86億4百万円と前年同四半期に比べ2億81百万円(3.4%)の増加と過去最高となりました。また、売上総利益は29億64百万円と前年同四半期に比べ1億72百万円(6.2%)の増加となりましたが、営業利益は3億50百万円と前年同四半期に比べ80百万円(18.7%)の減少となりました。クラウドサービス等のストック型ビジネスの戦略的拡大に伴い、計画通りの増収、微減益となりました。

■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
 (英語名:TECHMATRIX CORPORATION)
 設立 1984年8月30日
 上場 2005年2月18日
 資本金 12億9,812万円
 従業員数 952名(連結)
 本社所在地 〒108-8588
 東京都港区高輪四丁目10番8号
 京急第7ビル
 TEL : 03(5792)8600(代表)
 FAX : 03(5792)8700

■ 役員の状況

代表取締役社長 由利 孝
 取締役上席執行役員 依田 佳久
 取締役上席執行役員 中島 裕生
 取締役上席執行役員 矢井 隆晴
 取締役 安武 弘晃
 常勤監査役 小川 博章
 監査役 高山 健
 監査役 杉原 章郎
 監査役 三浦 亮太

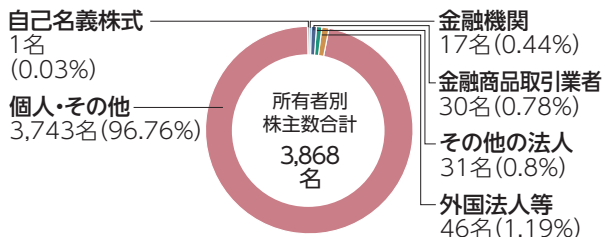
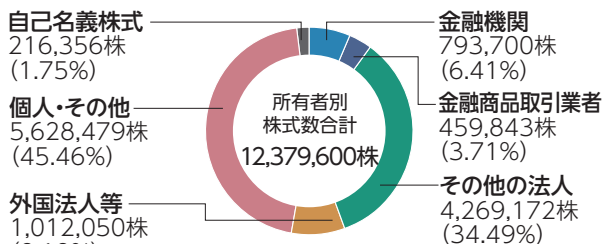
■ 株式の状況

発行可能株式総数 41,472,000株
 発行済株式の総数 12,379,600株
 株主数 3,868名

■ 大株主の状況

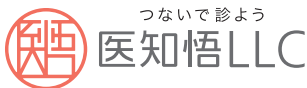
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
楽天株式会社	3,840,000	31.01
テクマトリックス従業員持株会	454,400	3.67
洪 教必	349,100	2.81
チェース マンハッタン バンク ジーティーエスクライアツ アカウント エスクロウ	248,200	2.00
テクマトリックス株式会社	216,356	1.74
熊谷 恵美	203,100	1.64
大和証券株式会社	155,000	1.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	153,700	1.24
リスクモンスター株式会社	140,000	1.13
TIS株式会社	122,200	0.98

■ 株式分布状況



グループ会社紹介

合同会社医知悟



私たち合同会社医知悟は、画像診断を担う専門家である画像診断医と、診療放射線技師を中心に設立された合同会社です。独立した立場で、遠隔画像診断を実現する情報インフラのみを提供して、専門医と病院の両者の業務を支援します。

<http://www.ichigo-llc.co.jp/>

当社の
最新情報は

テクマトリックス IR

検索

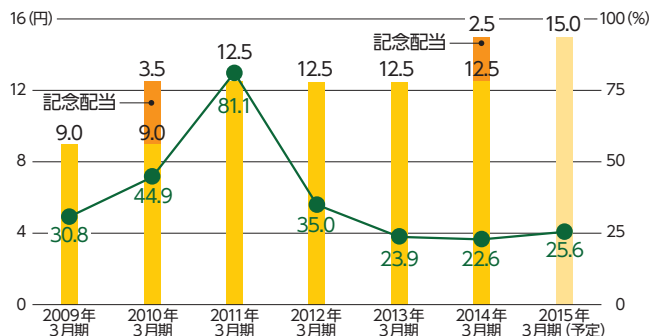
<http://www.techmatrix.co.jp/ir/>

● 株主優待のご紹介

対象 毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容 500株以上：1,000円相当の商品または寄付
1,000株以上：3,000円相当の商品または寄付

■ 1株当たり配当金(円) ● 配当性向(%)の推移



2013年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため2009年3月に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金を表示しております。2015年3月期の配当性向は、2015年3月期の業績予想と、2014年3月期の期中平均株式数で算出しております。

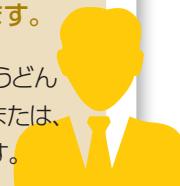


Shareholder's Q

株主優待の内容を教えてください。

ご好評をいただいている商品を中心に、より皆様にお喜びいただける内容を目指しています。

保有株式数に応じた価格帯の中から、ハムやうどんなどの食品や生活雑貨のうちお好きな商品、または、寄付を1点お選びいただく内容となっております。



IRカレンダー(予定)

2014年 12月20日	個人投資家様向け説明会(名古屋)
2015年 1月30日	第31期第3四半期決算発表
2015年 2月23日	個人投資家様向け説明会(東京)
2015年 2月28日	個人投資家様向け説明会(大阪)
2015年 5月8日	第31期通期決算発表
2015年 6月19日	第31期定時株主総会

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日

株主優待割当基準日 9月末

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
東京証券取引所市場第一部

上場証券取引所

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.techmatrix.co.jp/>

(ご注意)

- 株主電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承事となっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクマトリックス株式会社

〒108-8588 東京都港区高輪四丁目10番8号 京急第7ビル
TEL: 03(5792)8600(代表) FAX: 03(5792)8700

